

[CASE 01]

まさざか しゅん
巻坂 駿さん

飯豊町消防団 第4分団第2部第2班

地元が好きだから 消防団活動を通じた恩返し



東 京都から飯豊町へUターンをした巻坂さんは、『地元のために何か役に立ちたい』という想いから消防団へ入団。それから間もなく、コロナ禍で中断されていた2022年開催の「第29回全国操法大会」に吸管補助員として出場しました。消防団として活動していく中で、たくさんの学びや経験があったといいます。

「練習はもちろん、大会への参加は周りの方々の協力がなければ成し遂げられなかったことですので、団結して行動することの大切さを学ぶことができました。その他には、災害の際に人命救助などを経験しました」

また消防団員として生活していく中で、住民の方々とコミュニケーションをとるきっかけが自然に増えたと巻坂さんは続けます。

「私たちが暮らしているのは小さな町ですから、活動している風景を見られる機会が多いので、身近に感じてもらっている部分があるのかもしれない。そんな住民の皆さんがいて、思い出の場所がある地元で何かあった際に『守れる立場』であるということは、地元へ恩返しができるということ。それが私のやりがいです」

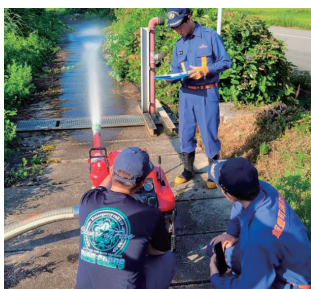
Q1 どんな活動をしていますか？

普段はポンプ点検、火災予防の呼びかけなど幅広い活動を行っています。また2022年8月の飯豊町豪雨災害では、小学校への浸水を防ぐため土のうを作ったり、住民の皆さんを公民館へ誘導するなどの活動に尽くしました。



Q2 消防団加入前と比べて変わったことは？

サイレンが鳴ると出動命令が出ているか確認するようになり、大雨の場合は災害の芽がないか注意するようになりました。また避難経路や消火器を気にするようになり、防災への意識が高まったと感じています。



自己成長と視野が広がる
きっかけに。
大切な人や場所を是非一
緒に守っていきましょう！

2

3

1. 第29回全国操法大会の様子
2. 定期的なポンプの水出し点検を行っています
3. 水利の除雪も活動のひとつ